

盛んな国際交流

育連だより

第6号

川崎市 中原区上小田中 1313-1
川崎市 青少年育成連盟
電話 044-733-3951
編集発行人 近賢一

ボルチモア市 シースカウト来川 川崎海洋少年団

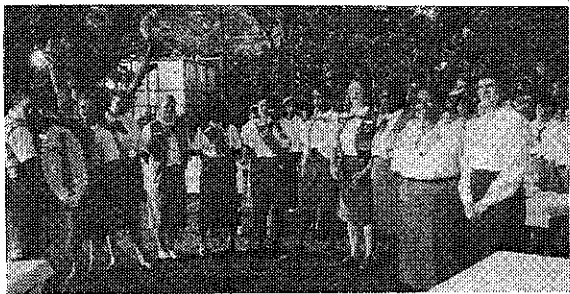


川崎海洋少年団では、七月二十六日から八月九日までの十五日間、初めて姉妹都市のボルチモア市シースカウトとの交流事業を行いました。

ボーイスカウトと一緒の来日ではありましたが、一部のスケジュールを除いては海洋少年団の独自のスケジュールを組みました。初めての来日ということ、スケジュールを作成するにあたっては、多くの方々にご協力を頂き、楽しく有意義な交流活動ができるよう心がけました。

ボルチモア市 ガールスカウトとの交流

ガールスカウト 川崎市連絡会



七月二十九日、成田からスカウト一行が成田空港に到着致しました。始めてお会いする方々でしたが以前より知っている仲間の様にお迎えする事が出来ました。メンバーは団長のエリザベス・デイモンテを含む十二名です。十四日間を楽しく有意義に過ごして頂きたいと願いつつお迎えしました。翌日から市長表敬訪問、川崎港めぐり、歓迎パーティ、交流キャンプ、ホームステイ、鎌倉めぐりと盛り沢山のプログラムでした。

七月二十六日、成田への出迎えから始まり、歓迎パーティ・市長訪問・市内観光・ホームステイ・八ヶ岳キャンプ・セイリング・さよならパーティと多くのことを行いました。この長い日程を言葉や文化などの違いを越え、心が通いあう充実した国際交流にできました。多くの方々の暖かいご支援があったからだと思えます。

また、ホストファミリーを受けた団員とその家族の方々は、不安と期待を胸にしながらの参加でしたが、とても良い経験になったという声も聞かれ、八月九日の朝、シースカウトのメンバーが各プログラムの実行委員となり企画・運営に当りました。

市長表敬訪問と巡視船、あおろ号による川崎港巡り、そして夜は歓迎パーティである。宮崎台駅から川崎駅まで各自切符を買い、電車も各自切符を買い、向かう。何もかも初めての経験で、特に自動改札機の出で切符が回収されるシステムには驚いていた。本庁では職員の方々の暖かい拍手に迎えられ、スカウトたちは嬉しそうだった。

続いて、巡視船で川崎港を巡る。時差の影響と心地よい揺れで、コックリ、舟をこいでいるスカウトもちらほらみえた。約一時間後、下船し、今度は陸から川崎港を臨むためマリエン展望台へ移動する。バスもタクシーも生憎く、なかなか来ずに日中の炎天下を待たされたのも、あとになれば思い出の一つとなったことだろう。日が沈み、漸く涼しくなった頃、青少年

バーが青少年の家を出発する時には涙ぐみ、別れを惜しむ場面も見られました。今回の交流事業を通してシースカウトのメンバーと出会い親しくなれたことはもとより、自分たちで出かけて行く側とは違った、受け入れ側としての国際交流のあり方を体験できたことは、大きな収穫だったと思えます。

八月九日の朝、成田から出発するシースカウトのメンバーの笑顔を見ながら、今度もまたシースカウトとの交流が盛んに行われていけるよう、川崎海洋少年団の活動を充実させていきたいと考えております。

の家に戻って来る。すでに歓迎パーティの準備はすっかり整っており、川崎のシニア、レンジヤリスカウト、ホストファミリー、市関係者等約百数十人が待っている。ボルチモアスカウトたちは、昼間の疲れなど少しも感じさせずに歓迎パーティ会場へとかけつけた。御父母の皆さんの手作りのおいしい夕食を囲みながら、歌の交換や歓談に花が咲き、時間のたつのも忘れる程、楽しい交流を持つことが出来、長い一日が終った。

自然に恵まれた八ヶ岳少年自然の家での交流キャンプには四十五名の参加がありました。

自然に恵まれた八ヶ岳少年自然の家での交流キャンプには四十五名の参加がありました。

自然に恵まれた八ヶ岳少年自然の家での交流キャンプには四十五名の参加がありました。

友情の深まったキャンプでの参拜、神妙な雰囲気で行なわれた茶道、ちよっと口に合わなかった和菓子、何人かのボ市のスカウトは仏像に興味をもっており専門的な質問に通訊も大変でした。

そして、最後に小町通り川崎市当局や関係者の方々の多大なご協力とご援助のおかげと心より感謝申し上げます。

おわりに 七月二十九日、成田からボルチモア市ガールスカウトは全日程を有意義にすごされ、よい思い出と友情、そして民間外交の役わりを果し無事に帰国されました。これもひとえに暖かく見守り、ご指導くださいました川崎市当局や関係者の方々の多大なご協力とご援助のおかげと心より感謝申し上げます。

おわりに 七月二十九日、成田からボルチモア市ガールスカウトは全日程を有意義にすごされ、よい思い出と友情、そして民間外交の役わりを果し無事に帰国されました。これもひとえに暖かく見守り、ご指導くださいました川崎市当局や関係者の方々の多大なご協力とご援助のおかげと心より感謝申し上げます。

おわりに 七月二十九日、成田からボルチモア市ガールスカウトは全日程を有意義にすごされ、よい思い出と友情、そして民間外交の役わりを果し無事に帰国されました。これもひとえに暖かく見守り、ご指導くださいました川崎市当局や関係者の方々の多大なご協力とご援助のおかげと心より感謝申し上げます。

手作り段ボール舟で多摩川に挑戦、八月三十日、高津区新二子橋下流で昨年に続き行なわれました。

高津子どもフェアー実行委員会・子ども会・区役所の主催、建設省・教育委員会の協賛、河川漁業共同組合の後援で「遊びを通じ、自然や仲間と触れる楽しさや大切さを実感してもらおう」という開催趣旨のもと、夏休みを利用して作られた舟は、全長2m、幅1mなどの規格の中で仕上げられ、テープや、防水塗料などを使って、色鮮やかに作られました。

帆船やカヌー、戦車にF1などユニークな作品の三十四艇は、できれば審査と、50mのコースを七組に分か

競技終了後、できれば賞と記録の発表があり、一位には、久地東子も会の石塚敬介君が表彰された。また、稚魚のつかみどりも行なわれ、一日お世話になった河川敷の清掃を参加者全員で行って、夏休み最後の日曜日を楽しくしました。

(秋元 興光記)

転覆続出かちかち山

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

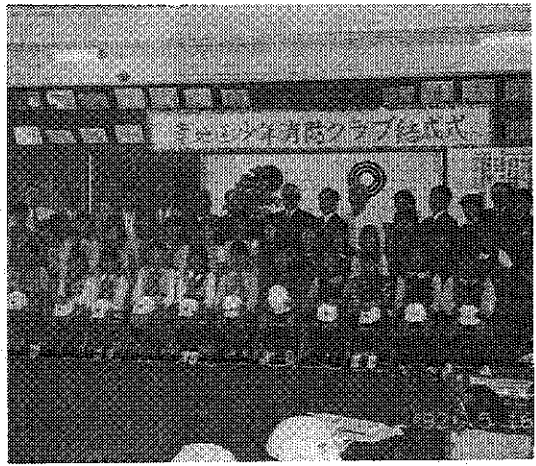
川崎市子ども会連盟

川崎市子ども会連盟

幸地区少年消防クラブ

お年寄りをまじえて

「こども会連盟」



幸地区少年消防クラブは、昨年度の御幸西地区に替わり、本年は南河原地区が担当しております。当クラブは南河原地区8子ども会から3名ないし4名の少年少女が参加し、男子15名、女子15名計30名で構成されております。

クラブの目的は、子ども達の防火思想の普及を図ることです。

クラブ活動の内容としては、防火知識の学習、消火・避難及び通報訓練といった実技を中心に行なっております。特に本年度から新しい試みとして地域の「老人いこいの家」を使いまして、お年寄りをまじえたクラブ活動が予定されております。これは、お年寄りと一緒に活動の機会を設け、「老人の救出方法」の学習、三角布による各種応急手当の訓練などを行うことによりまして、防火知識の学習と合わせて、敬老の精神を子ども達に学んでほしいと思っております。

(運営委員長 押山兼二)

スカウトの日 「カントリ大作戦PART3」実施

ボーイスカウト川崎地区協議会

ボーイスカウトでは三年前から、九月十五日をスカウトの日と銘うって全国一せいに、奉仕活動をする日としております。

奉仕活動の内容は、空きを捨てる「カントリ」大作戦PART3、「敬老の日」に戦PART3、「敬老の日」

沿った活動、「環境を大切に活動」、「各団オリジナルプログラム」とありましたが、川崎地区の各団は「カントリ」大作戦PART3に挑戦しました。

当日の朝は、霧雨が降っていたが地区内の17ヶ団のスカウトがそれぞれ、



スカウト・リーダー七三九名がそれぞれ地域の道端や空き地、河川の周辺、公園等に投げ捨てられている空き缶を一つひとつ拾いあげ、スチール缶、他のゴミと仕分けして袋に入れる奉仕作業を一時から二時間実施した成果は何んとアル缶一〇、四七二個、スチール缶一〇、四七二個、不明缶二、一四三個総計二万八千八百一十個であった。

実際に作業をしてみても、動販売機の近くには特に多く、また、車の中からの投げ捨て、歩きながら飲んでいる現状にかまわず捨てている現状にぶつかり、あらためて日本人のモラルの低さを痛感しました。折角、設置されている空き缶入れのバケツも活用されていません。

一人ひとりが、我が町、我が日本を美しくしようという心がないと空き缶の投げ捨てはなくならないと思っております。

晴天に恵まれ 年少ラリー終る ガールスカウト



十月四日、こどもの国に於いて、年少ラリーが約二百名の参加者を得て開催されました。例年になく好天に恵まれ秋空の下、午前中は水リレー、長いものゲーム、カモンカモンなど、午後には時間を決めてフィールドゲームが行なわれた。七番目のポイント、丸太登りでは、おやつがいたゞけるたのしみもありました。多勢の新しい友達との出逢いに胸おどらせながら、汗に汗して広場をとこせせましに飛び廻り歓声をあげてスカウト達。猛暑の中、すがすがしく楽しい一日を過ごしました。

育成連盟

受託事業の展開

地域で活動する青少年団体の育成、青少年団体のため市教育委員会から次のような事業が委託され、活動が進められています。

- ① 少年団体ジュニアリーダー育成事業
- ② ジュニアリーダー育成事業
- ③ 県外少年団体交流研修事業
- ④ 少年団体ふれあいモデル事業

二、青少年指導者プログラム

地域で積極的、意欲的な活動を展開している育成連盟四団体の交流を図り、各団体が一層地域に密着して充実した活動が推進されるように研修の機会を設け、熱意をもった若いリーダーの育成をめざす事業です。

中・高校生部会の活動

ジュニアリーダーの資質向上を目的に、研修計画の

第三回シニアースウト大会開催される

ボーイスカウト川崎地区協議会

四年に一度開かれるシニアースカウト大会(高校生年代)は、今回が三回目です。一回目は南蔵王の白石で、二回目は静岡県の朝霧高原で行われました。

今回の会場は、第二回日本ジャンボリーの行われた饗庭野高原(滋賀県高島郡今津町)で、琵琶湖の北西の湖岸に位置し、標高一〇〇米、二五〇米の松や雑木の混じった林のある丘陵地帯に全国、海外から集まった約七、〇〇〇名のスカウト・リーダー・大会本部・野営区要員等が野営し、八月三日夕刻の開会式で大会の幕が切られて落された。

今回は、参加スカウト二名でパディを組む、大会期間中は常に行動を共にするように決められています。そして、参加するための会場への往復も原則的にはパディが事前に調査・研究し、コース・乗物等を決めて実施する方式が採用されました。

また、主に近畿圏に設けられた二十ヶ所の活動基地で、参加者を前・後半に分け、「回峰行の道」をはじめ四群二十種目に挑戦した。参加したスカウトは、ベンチャー賞を取るために、A群の必修種目三種目、主会場プログラムB、C、D

とつても楽しかった八ヶ岳の思い出

こども会連盟

私は、八月二十二日から二十四日まで、会長・班長



研修会で八ヶ岳に行きました。一日目の夕食は、野外炊事でチキンカレーを作りました。ご飯におこげが入っていたりしましたけれど、自然の中で食べるのとつてもおいしくおかわりまでしてしまいました。

夜は、星の観察をしにアストロハウスに行きました。最初は、たくさん星が見えてきれいだっただけれど、土星を見ようとしたら雲にかくれてしまったのでとても残念でした。

消燈時間が過ぎても友達とおしゃべりをしていてなかなかお寝れませんでした。朝食後、しばらく遊んでからマスのつかみどりを行いました。つかみどりはおもしろかったけれど、むずかしくて二ひきしかとれませんでした。でも、自分ではらわたを出して塩をつけたら、焼ける順番を待たせているうちに、おなかがいっぱいになってきて少しか食べられませんでした。

スタンプの練習は「昔話」をやるのがきまっていたので、早くできるかと思っただけれど、セリフなどをおぼえるのに時間がかかってフタの準備の時間までつぶしてしまいました。

私の班は、三びきの子ぶたのギャグ編「三びき」をやりました。少しまちがえしてしまったけれど、とても楽しい思い出になりました。

(多摩区子ども会 大多喜 ゆかり)